一般社団法人ナショナルパーク・レスポンシブルツーリズム推進協議会

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

レスポンシブルツーリズムを哲学的基盤として、国立公園を舞台に、アドベンチャーツーリズム・ハイエンドワーケーション/リトリートなど高付加価値な滞在型コンテンツ開発・国内/海外をターゲットにしたハイエンドな国立公園コンテンツの誘客プロモーション・サスティナブルな好循環型の観光地域づくり・ガイド人材育成を推進しています。

担当者（問合せ先）：事務局長 鈴木藍　　連絡先：info@nrto.jp



パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞

■ 国立公園の資源を活用した高付加価値な滞在型コンテンツの開発・ツアー造成・誘客プロモーション
■ GSTC水準のサスティナブル・ディスティネーションマネジメントのための実証事業・知見共有
■ インタープリテーション人材育成プログラム
■ 国立公園各地に宿るロングストーリーの可視化
■ レスポンシブルツーリズムサミット開催・GSTC観光事業モデル共有

＜企業等の強み等＞

■ 上記分野における専門家ネットワークとアサイン
■ DMC連携によるコンテンツ開発から誘客までのワンストップソリューションの展開
■ ストーリーコンテンツのクリエイティブ・プロモーションから実際に現場のガイディングに落とし込むまでのトータルプロデュース
■ GSTC水準の観光地域づくりの導入プログラム

＜目標、実現したいこと＞

■ 全国全ての国立公園でソリューション展開

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞

① 国立公園滞在型コンテンツ開発
・観光庁令和7年度事業：「ストーリーで繋ぐ地域のコンテンツの連携促進に向けた実証調査（ロングストーリー事業）」において、ひがし北海道を舞台にしたロングストーリーツアー造成をプロジェクトチームで採択を受け、実証事業・ツアー開発・セールスプロモーション活動を令和8年1月末まで実施。7日8日で4つの国立公園（大雪山・知床・阿寒摩周・釧路湿原）を繋げたFAMトリップを実施し、このストーリーを可視化してツアー商品として実際に販売するフェーズまで立ち上げた。

② 国立公園GSTC推進支援
・昨年実施した大雪山国立公園エリアでのサスティナブルツーリズム実証事業に引き続き、今年度は旭川家具をテーマに、サスティナブルな産業と観光をマッチングさせた滞在型観光と将来世代へ地域資源を遺すことに貢献する観光マネジメント手法の企画開発を推進する。令和8年1月から実際にサスティナブルツアーとして販売予定。

＜次年度取組予定、構想＞

・北海道エリアでの成果を横展開すべく、現在連携を深めている沖縄奄美エリア，鹿児島エリア，北陸エリア，東北エリアにて、国立公園の付加価値を高め、人材育成とGSTC水準の観光事業モデルを推進する取り組みを進める。